

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告

めぐみ通信

Vol. 2

2011. 10. 15



～子どもの幸せが広がるまちへ～

8月の臨時議会、9月の第3回定例会の報告をお届けいたします。

(8月臨時議会…8月30日～9月1日)

(9月定例会 …9月 8日～22日)

子どもたちの幼稚園です。もっと丁寧に時間を掛けて考えてください!!

高石幼稚園 突然の廃止!

高石幼稚園は大正15年5月1日に、高石市(当時は高石町)に初めて設置された幼稚園です。多くの市民の方々が卒園された、市民の財産です。その幼稚園が平成24年度末で閉じられることが決まってしまいました。

本当に突然の話です。

教育委員会での討議は以下の通りです
7月13日「市立幼稚園再編等検討委員会」委員の委嘱を決定

8月10日「高石幼稚園の廃止」が決定

たった2回の教育委員会での決定でした。

幼稚園再編等検討委員会はこの1ヶ月間に5回開催しただけでした。

しかも、保護者への説明会は臨時議会で廃止が決定された後の9月1日でした。

決まってから「説明」されても納得できない、という声が上がっていました。その説明会で

は「高石市は子どもたちをどのように育てたいと思っているのか」ということは一切語られませんでした。繰り返し言われるのは「適正規模、適正配置」というお役所言葉でした。これは効率重視の話であって、子育ての話ではありません。

子育ては「効率的な事」とは反対の営みです。今は無駄と思えることでも、その無駄が10年後、20年後に生きてくるのが子育てであり教育です。

今回なぜこんなに急いでいるのか、という私の質問に「9月の広報に掲載するために急いでいる」という答弁がありました。保護者への説明より広報に載せることが優先されるとは、どういうことでしょうか?

臨時議会では、もちろん反対しました。しかし、反対したのはクリア高石の山敷、寺島および共産党の出川、明石(敬称略)の4人だけでしたので、高石幼稚園の廃止は決定してしまいました。

加茂保育所も突然の廃止民営化！ しかも、こんな事実が明らかに！

「高石市としては3園を公立保育所として残していきます。」平成19年6月の福祉土木委員会(保育所のことを話し合う委員会)で、福祉部職員がはっきりと言っています。なのになぜ、突然の廃止なのでしょう。

要配慮児の増加や虐待に対する対応など、公立の役割の重要性が高まっている中、公立保育所をこれ以上減らすべきではないと、山敷は考えています。

しかもこんな事実が明らかになりました！

第4回保育のあり方検討委員会の議事録より (高石市のWebページにも掲載されています。)

7月15日

高石市の副市長と理事が2人で大阪府庁に行き「このスケジュールで**民営化を考えている**が、このタイムスケジュールに漏れはないか」という確認を行っています。(府庁に確認しました。)

(保護者代表)じゃ、この委員会自体は民営化の推進も、民営化をやめてほしいというその結論を出す場ではないということによろしいですね。

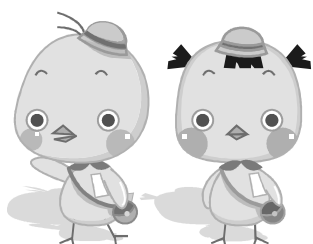
7月17日

民営化前提の話ではありません、と言って「高石市の保育のあり方検討委員会」開始。(右の議事録をご参照下さい。)

◇事務局 もちろんそうです。これで民営化そのものをこの委員さんの中で決めていただくつもりは毛頭ございませんし、それを判断するのは、これはもう行政の責任でやるべきことですから、委員の皆さんにお願いしたのは保育の実際のあり方についてのご意見を議論していただいて市長に報告書をまとめていただくといったことで、事務局でたたきの案をつくらせていただいてお手元にお配りしている内容でご議論、いろいろ意見交換していただいたはずでございますので、そのものを報告書でまとめて市長に提出していただく

こんなやり方で、大切な子どもたちのことが決められているのです。高石市として子どもの育ちにどのように関わっていくのか。その中で保育所の位置づけはどうなのか。

片方で「民営化します」と府には言っておきながら、この答弁はひどいです。「民営化も視野に入れている」ことは言うべきだったのではないのでしょうか。



幼稚園の耐震化 なぜ、加茂幼稚園は実施しないの？

めぐみ通信前号でもお知らせしたとおり、加茂幼稚園と高陽幼稚園のIS値は安全基準より低くなっています。

(参考:国土交通省HPより)

① IS値<0.3	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
② 0.3 ≤ IS値<0.7	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

	建築年度		IS値
加茂幼稚園	→ 昭和48年	…	0.31
高陽幼稚園	→ 昭和56年	…	0.43

加茂幼稚園は「危険性が高い」とされている0.3に近い数値です。

両園とも早急に耐震二次診断を行い、耐震化をするべきです。

しかし、9月議会に出た案には、高陽幼稚園の耐震二次診断の予算しかありませんでした。

高陽幼稚園の耐震化は、大いにやっていたきたい。しかし、加茂幼稚園も同時にするべきです。

子どもたちの命を守るための耐震化です。

加茂幼稚園の耐震化に関する費用の早急な予算化を求めます！



中学校給食についての情報非公開に 不服申し立てをしました！

高石市では平成24年の2学期から、高南中学校での給食の実施が決まっています。中学校の給食は私も本当に大切だと思っています。

しかし、給食の実施や、それぞれの中学校に給食室が建設されることに決まった経過の記録が全く残されていません。めぐみ通信Vol.1でもお知らせしましたが、情報公開を求めましたら「文書を作成していないため」という理由で非公開でした。

高石市では今、色々な分野で「文書があり

ません」といわれることが多いです。ひどい課では「議事録作成のために録音してましたが、データを紛失しましたので非公開」とされたこともあります。

このような状況に少しでも歯止めを掛けたいと思い、不服申し立てをしました。

文書も作成せずに、例えば教育委員会と給食室の設計や建設を担当する課など他の課との打ち合わせが出来るわけがない、と思います。今後も、来年秋からの中学校給食が少しでも良いものになるよう、求めていきます。

ゲリラ豪雨で床下浸水！



この写真は、加茂地区を流れている今川に設置されている「スクリーン」にゴミが詰まり、溢れそうになるのを防ぐために、職員が命綱もつけずに、ゴミを取り除いている様子を写したものです。

この地域で8月上旬のゲリラ豪雨の際に川の水が溢れ、床下浸水の被害がありました。スクリーンさえ設置されていなければ起こらなかった被害です。

浸水したエリアではエアコンやガス給湯器の室外機が壊れた家屋が何件もありました。スクリーンを設計 設置した責任は市にあるので、被害に関しての賠償の責任があるのではないか、と思います。9月議会でも決算委員会と本会議での一般質問で尋ねましたが「市に責任はない」というのみです。責任がないというなら、丁寧な説明を地元の方々に行っているのか、というとしていないようです。

しかも、地元自治会からは書面で質問書が出ていて、回答期限が8月18日だったにも関わらず、未だに回答もしていないそうです。(10月14日現在、市に確認)
被害が出ている中で、この対応はひどすぎます。

高石市には、もう少し市民の声をしっかりと受け止める体制になって頂けるよう、訴えていきます。

議会報告会

8月臨時議会および9月議会の、クリア高石としての議会報告会を行います。議会に提出された資料などもご覧頂きたいと思います。

11月5日(土) 午後2時より	東羽衣公民館 2階 会議室
11月11日(金) 午後7時より	とろしプラザ 3階 会議室1

どうぞ、お越しくださいませ。

ブログに日々様子を綴っておりますので、是非ご覧下さいませ。

議会の議論やクリア高石が提出した条例案、視察の内容なども詳しく掲載しております。

<http://yamashikimegumi.com/>

「山敷めぐみ」で検索

発行：山敷 めぐみ
高石市羽衣5-1-43-204
072-264-8556
yam4-meg3@ezweb.ne.jp
megumi_y@fb3.so-net.ne.jp